

大洲病院ニュース

OZU CITY HOSPITAL NEWS

発行：市立大洲病院

編集：広報委員会

〒795-8501

大洲市西大洲甲570番地

TEL0893-24-2151

FAX0893-24-0036

糖尿病をお持ちの方ほど大切ながん検診

糖尿病をお持ちの方ほど「がん」がでやすくなることをご存じですか？

糖尿病は血糖値が高い状態が続く病気です。血糖値が高いままだと血管が障害され、心臓、腎臓、眼などに問題が起こると古くから言われてきました。しかし、近年の研究では、糖尿病と「がん」との関係も注目されています。糖尿病をお持ちの方は、そうでない方に比べてがんの発症リスクが高いことが報告されています。特に、大腸がん、肝臓がん、膵臓がんなどでリスクが上がるとされています。

その背景には慢性的な高血糖やインスリン抵抗性が体内の炎症や細胞の増殖異常を引き起こしやすくなることが考えられています。また、肥満や運動不足など、糖尿病と共通する生活習慣もがんの発症に影響を及ぼす要因といわれています。

糖尿病そのものは自覚症状が乏しいことが多く、がんも早期には症状が出にくいいため、両者が重なっても気づきにくい危険があります。そのため「糖尿病をお持ちの方ほど積極的ながん検診」が重要です。中でも、日本人に多い胃がん、近年増加が続いている大腸がんは、胃カメラや大腸内視鏡で早期発見・早期治療が可能です。ちなみに大腸がんでは、糖尿病をお持ちの方は、そうでない方に比べて1.43倍の発症リスクがあるとの報告もあります。



内科部長 平田 哲

専門分野：内科一般・内視鏡・糖尿病

糖尿病をお持ちの方は、血糖コントロールと並んで、定期的ながん検診を受けることが健康寿命を延ばす大切な一歩となります。早期であればお腹を切らない内視鏡治療ができますので、ぜひこの機会に、胃カメラや大腸内視鏡検査を受けてみましょう。

**糖尿病や糖尿病予備軍と診断されたら、がん検診を。
胃カメラや大腸内視鏡検査も大事な検査です！**

〈第47号の主な内容〉

- 「糖尿病をお持ちの方ほど大切ながん検診」 1 P
- 利用してみませんか？レスパイト入院 2 P

市立大洲病院公式ホームページ <https://www.city.ozu.ehime.jp/site/ozuch/>

利用してみませんか？レスパイト入院

レスパイト入院とは

レスパイト (respite) とは「一時休止」「休息」「息抜き」という意味です。在宅で介護にあたっているご家族の方々が、上手に息抜きをしながら介護を続けることができるよう支援するのがレスパイト入院の目的です。例えば、出張などの急な仕事の都合や主に介護されている方の入院、冠婚葬祭などの場合でもご利用いただけます。



○対象者

- ・ 1回の入院期間は原則14日間で、ご自宅へ帰られる方が対象です。
- ・ 在宅酸素、痰吸引、麻薬の管理、褥瘡処理などの医薬管理がある方を優先的に受け入れますが、それ以外の方もご相談いただけます。

○ご利用にあたっての注意点

- ・ 入院期間分の薬とお薬手帳をご持参ください。当院以外がかかりつけ医の場合は紹介状が必要です。ご利用の際は医療保険が適用されます。

○申し込み方法

- ・ 当院がかかりつけの方は、各科外来または患者相談窓口へご相談ください。
- ・ 介護サービスや訪問看護をご利用の方は、その担当者にご相談ください。
- ・ **ご希望日の1週間前までにお申し込みください。**



ご不明な点がございましたら、お気軽に当院までご相談ください。

お問い合わせ先 総合患者支援室
TEL: (0893) 24-2151 (代表) FAX: (0893) 24-0036

9月17日は「世界患者安全の日」

「世界患者安全の日」は2019年にWHO総会で制定されました。

当日は職員が集まって、玄関ロビーの飾りつけを行い、患者安全を促進するための意識啓発を図りました。



病院まると見学ツアーが 開催されました

愛媛県看護協会主催による「病院まると見学ツアー」に、19名の看護学生が来院しました。病院を見て！聞いて！話して！笑顔あふれるツアーとなりました。将来の輝ける看護職の皆さんを応援しています。

